

VTE 連携セミナー

- 予防から治療まで -

【VTE】 静脈血栓塞栓症(PTE と DVT の総称)
【PTE】 肺血栓塞栓症 【DVT】 深部静脈血栓症

【開催日時】 2020年1月29日(水)

【場所】 ソラリア西鉄ホテル福岡

【参加者】 南川整形外科病院

医師 : 櫻木院長・森先生

看護師 : 中野・井上

リハビリ : 高島・田子森・城ヶ崎

【Session1】

「当院の VTE 診療の現状」

済生会福岡総合病院 循環器内科 部長 長友大輔先生

「院内の VTE 予防強化に向けた取り組み」

済生会福岡総合病院 手術看護認定看護師 木村綾乃先生

【Session2】

「VTE の治療戦略と院内体制の整備について」

九州大学大学院医学研究院 循環器内科学 日浅謙一先生

「エコー検査による周術期の VTE の病態」

福岡整形外科病院 理事長 王寺享弘先生



「第一発見者は 医師ではない。」

Closing Remarks を務められた王寺先生が、今回のセミナーの意義を参加者に向けて話されていた言葉です。なぜ「連携」セミナーなのか？医療現場において、VTE を発症した患者さんを最初に発見するのは、看護師も含めたコメディカルが大半を占めます。そのため、VTE の発生を予測し評価・報告する体制を整えておく必要があり、日頃から十分な観察のもと異常を医師へ報告し治療に結びつけるチーム医療が大切であると述べられていました。

～ 感想 ～

DVT の発生原因がまだ解明されてない中、特にTKAに関しては発生率・発生時期共に共通していたため、他の病院も一緒だったことに驚きました。下肢エコーの取り組みを中心に「DVT0件」に向けて院内で話しを進めている中、個人だけでなく医師、看護師との協力が必要であり、周りの病院が予防対策としてどのように取り組んでいるのか、発生しやすい術後翌日までの対応など他部署からの意見を収集することの必要性も再確認することができました。

講演後のフロアにて、投薬によりDダイマー値が下り正確な数値がはかれないこと。それに伴い、値とDVTの初見が一致しているのかどうか、投薬から血液検査までの時間により値は変わるのかなど、今後研究へと発展出来ればと思います。

医師と連携して下肢エコーに携わる事の重要性和やり甲斐を感じることで、それを活用できる方向へと進んでいく決心ができた勉強会でした。

リハビリテーション部 田子森 優俊

